

複数年にわたる性能及び維持管理に関する調査(経年調査)について(案)

1. 背景・目的

これまでの実証試験結果や山岳トイレ整備・管理者から次のような点が指摘されている。

- (ア) 設置後、2 - 3 年後にトラブルが発生する場合が少なくない。
- (イ) 維持管理方法の適正化や作業性の改善が求められている。
- (ウ) ランニングコストを検証する必要がある。
- (エ) 複数年にわたって安定的な性能を維持することが必要である

実証を行なった技術が継続的に性能を発揮しているかどうか把握し、改善を指摘することで、長期にわたり安定的に稼動するよう促す仕組みを構築することを目的とする。この性能確認においては、実証済み技術に対して簡易的な調査を複数年にわたって実施し、処理性能や維持管理状況を経年的に把握することが必要である。

2. 検討課題

1. 経年調査実施の位置づけ（義務、希望等）について。
2. 調査費の負担について（試料、データ採取・分析費、分析結果の検討費等）
3. 調査の実施のインセンティブについて（ロゴマーク + α の付加価値等）
4. 実施体制について（WG の役割等）
5. 調査項目について
6. 調査の流れについて
7. 親検討会への提案

3. 今後のスケジュール

- ・ 9 月 2 日：第 2 回 WG にて、経年調査のあり方について検討
- ・ 9 月下旬（予定）：これまで実証試験に参加した実証申請者に対し、経年調査の必要性や要望に関するアンケート調査を行う。
- ・ 10 月（予定）小 WG にて、経年調査方法について検討
- ・ 11 月（予定）：第 3 回 WG にて、経年調査方法（案）の検討

4. 小 WG メンバー案

- ・ 岡城検討員、桜井検討員

[参考；現状の追加試験の方法]

5. 追加試験の実施

過去に本事業において、実証機関から装置の技術実証を受け、環境省の承認を得た装置について、処理性能向上のため装置を一部改造した場合、または数年経過後における処理性能の実証のため、技術開発者及び販売店の希望により、追加の実証試験を受けることができる。（山岳トイレし尿処理技術実証試験要領（第 5 版）より）